

# 群馬の畜産 みんなの情報室

第364号

発行日  
令和7年3月31日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会  
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階/TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372  
ホームページ:https://www.chikusankyokai.or.jp

## 第59回理事会の開催

令和7年3月10日(月)、群馬県JAビルにて第59回理事会が開催され、令和7年度の事業計画及び収支予算が承認されました。

### 1 基本方針

本会では、畜産経営の安定と畜産物の安定供給が図れるよう、行政、中央団体、県内関係団体と連携し、各種の緊急対策を迅速に実施すると共に、引き続き、家畜・畜産物の価格安定対策をはじめ、経営支援、生産基盤の強化、家畜衛生、家畜改良、担い手の確保育成等の各種事業を実施して参ります。

また、家畜・畜産物の安全・安心を確保するため、生産者に対し、農場HACCP認証制度や畜産GAP制度の手法の活用を積極的に推進し、農場の飼養衛生管理技術の向上、安全で高品質な畜産物の生産に貢献するとともに、消費者に対する畜産への理解醸成事業を通じて、群馬県産畜産物の消費拡大に取り組みます。

民間としての機動性を活かし、細かな支援を実施する畜産専門機関として、畜種ごとに有機的な情報活用を図り、高い次元で対応する事務局体制を維持するとともに、法人経営、特色のある経営など、多様化する畜産経営に合った専門性の高いサービスを提供できる人材の育成に取り組みます。

さらに、これまで継続してきた事務の合理化や経費抑制についても引き続き実施して参ります。

なお、本計画にない新規取り組みについては、本会の事業目的に合致するものや、社会的情勢の変化などにより喫緊の対応が求められる場合については、事業計画に支障のない範囲において取り組むことといたします。

### 2 事業計画

【公益事業1】畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業

(1) 畜産経営の安定を支援する事業

ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援

肉用牛肥育経営への子牛の安定供給を進め、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、当協会と補給金の交付契約を締結した肉用牛繁殖経営者に対し、子牛の販売価格が国の定める基準価格を下回った場合に、その差額を補給金として交付するとともに、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者が販売



## 目次

第59回理事会の開催	1	第16回全日本ホルスタイン共進会群馬県出品対策研修会の開催	8
畜産リノベ資金・酪農・肉用牛担い手緊急支援資金(酪肉支援資金)の紹介	5	馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催	9
肉用牛合同研修会の開催	6	令和7年度肉用子牛対策の紹介	9
和牛全共だより	6	地方競馬ミルクウィーク2025の開催	10
和牛登録員研修会の開催	7	価格安定事業発動状況	10
第13回全国和牛能力共進会出品に向けた研修会の開催	7	価格安定事業発動状況、市況	11
第51回群馬県ブラックアンドホワイトショーについて	8	みんなで行こう!ケイバ!南関東4競馬場開催日程	12

した和子牛に対して奨励金を交付します。

また、円滑な事業実施を図るため、事業参加者から制度実施に要する経費の一部を手数料として徴収し、肉用子牛生産者補給金制度の事業推進を図ります。〔実施予定事業数：4事業〕

#### イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援

肉用牛肥育経営の安定を図ることにより、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、肥育牛補てん金交付契約を締結した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が、同じく算出される標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付します。

また、円滑な事業実施を図るため、事業参加者から制度実施に要する経費の一部を手数料として徴収し、肉用牛肥育経営安定交付金制度の事業推進を図ります。〔実施予定事業数：3事業〕

#### ウ 養豚経営の安定に関する支援

養豚経営の安定を図り、国産豚肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度の登録生産者からの委託により、同制度等の事務推進を行います。〔実施予定事業数：1事業〕

#### (2) 畜産経営の向上を支援する事業

##### ア 地域の畜産経営への支援指導

畜産経営の高度化に必要な情報の提供や経営分析による指導、個人・法人等の多様なニーズに対応した経営指導を行います。

また、既往負債の長期・低利な資金への借り換え計画作成とその計画達成のための指導、資金借入を希望する畜産経営体の経営ビジョンや経営計画作成、収益性・生産性を向上、労働時間の短縮を図るための機械導入等を支援するとともに、生産物の品質向上、生産情報管理・分析について指導します。

さらに、畜産経営者の経営実績の収集、経営指導活動の成果を把握するための調査、優れた畜産経営者や畜産振興に貢献している団体等の調査を行い、その結果の周知・普及を図るとともに、畜産経営者等からの輸出相談に応じるための輸出相談窓口の設置と畜産物輸出に対する理解醸成や意識向上を図るための普及啓発資料の配布を実施します。〔実施予定事業数：17事業〕

##### イ 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

畜産経営に係る人材確保と労力負担の軽減を図るため、獣医学を専攻する大学生に対し、卒業後、群馬県内で産業動物獣医師として従事することを条件に修学のための資金を給付するとともに、県内の産業動物獣医師採用情報を収集・提供し、産業動物獣医師への就業と人材確保を支援します。

酪農ヘルパー利用組合が雇用等により確保している要員の確保・育成に必要な費用の一部補助、酪農従事者が病気、けが等により就業困難となってヘルパー利用が増加した場合の負担額の軽減のための互助基金の造成とその活用、ヘルパーの活動によって発生した財物の破損等を賠償する保険への加入促進と保険料の一部を補助します。

また、経営者の高齢化等により継続が困難となる経営の第三者継承への支援、大規模化により雇用を必要としている畜産経営に対して、人材確保のための職業紹介や募集に必要な支援及び人員育成のための支援を行います。〔実施予定事業数：9事業〕

#### (3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

##### ア 畜産及び畜産物への理解醸成

消費者等に対し、畜産及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図ることを目的に、消費者を対象にした畜産及び畜産物に関する研修会や体験交流会の開催、山羊活用に向けた山羊乳の消費に関する調査、検討を行うとともに、イベントにおける畜産物の栄養知識に関する啓発資料の作成・配布及び畜産物の無償配布、畜産堆肥の有機質肥料としての有用性に関する啓発資料の作成・配布などを通じて消費者の畜産への理解醸成及びリスクコミュニケーション確保のための活動を行います。

また、畜産の振興を担う地方競馬場において冠レースを開催し、畜産への理解醸成を図ります。

〔実施予定事業数：5事業〕

イ 家畜及び畜産物の安全性確保

消費者や生産者の信頼を確保するため、牛海綿状脳症（BSE）対策の有効性を監視する「死亡牛BSEサーベイランス」において、実施に必要なBSE検査及び同検査の採材等に関して、検査促進費及び検体提供費の助成を行うほか、牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理業者に対し促進費を交付し、特定危険部位の適正管理の促進を図ります。〔実施予定事業数：2事業〕

ウ 家畜の悪性疾病による損失対策

悪性の家畜伝染病など、指定する疾病が発生した場合に、飼養する乳牛、肉牛、豚を淘汰した後、経営の再建を図ることを目的に、畜産経営者に対して事業内容の周知、事業への参加の呼びかけ、事業への参加手続等を支援します。〔実施予定事業数：1事業〕

エ 農場の生産衛生の強化

清浄化が難しく伝播力が強い個人別経営の取り組みだけでは十分な効果が得られにくい牛豚の伝染性疾病等の発生・流行を防止して畜産物生産の安定を図ることを目的に、検査、予防接種、生産衛生の強化に必要な費用の一部を補助します。

また、豚熱（CSF）対策として野生イノシシへの経口ワクチン野外散布のための協議会運営事業を実施するほか、令和元年度に実施されたASF侵入防止緊急支援事業について、整備施設の利用・管理状況等についてのフォローアップを行います。

〔実施予定事業数：3事業〕

オ 家畜の衛生管理の強化

家畜の衛生管理の強化、疾病の清浄化及び予防による畜産物の生産の安定を図ることを目的として、自衛防団体等が実施するワクチン接種の推進、豚熱（CSF）等の家畜伝染病発生時の対応等を円滑に行うための演習・研修の実施、農場HACCP認証、畜産GAPを普及するための構築支援体制の整備、調査・指導、野生獣の家畜に影響を及ぼす疾病の保有状況等についての調査、豚疾病防止のための獣医師による巡回指導、馬の飼養者等への衛生管理に関する調査・講習会、及び、ハチミツの安全性確保のための検査等について支援します。

〔実施予定事業数：10事業〕

（4）家畜の能力向上を促進する事業

家畜の能力向上を促進するため、家畜の血統登録の促進を図り、家畜改良の成果を競う群馬県畜産共進会、北海道で令和7年度に開催される第16回全日本ホルスタイン共進会、及び、令和9年度に開催される第13回全国和牛能力共進会の出品対策を実施します。また、和牛の高齢の繁殖雌牛から、増体や肉質に優れた若い繁殖雌牛への牛群転換の支援、優良繁殖和牛の作出・保留のためのゲノミック評価の活用推進のほか、乳用牛のSNP（スニップ）検査推進事業など、遺伝形質の評価を促進するための支援等を総合的に実施します。

また、令和3年度の畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(生産基盤拡大加速化事業(肉用牛))において、取組主体(クラスター協議会)の構成員が設定した成果目標に対する達成状況のとりまとめ等を行います。

〔実施予定事業数：16事業〕

令和7年度 実施事業数(当初計画時)

(1) 会計区分内訳表

( )は令和6年度変更事業計画時の事業数

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計	
公益目的事業会計	公1(1)経営安定支援	3 (3)			1 (2)		1 (1)	3 (3)	8 (9)
	公1(2)経営向上支援	7 (7)		1 (1)	10 (10)			8 (9)	26 (27)
	公1(3)安全・理解	4 (4)	6 (6)		3 (4)			8 (8)	21 (22)
	公1(4)能力向上	6 (7)		4 (4)	2 (2)			4 (4)	16 (17)
	小計	20 (21)	6 (6)	5 (5)	16 (18)		1 (1)	23 (24)	71 (75)
収益事業等会計	収1(1)家畜登録				6 (6)				6 (6)
	他1(1)団体事務受託					3 (8)			3 (8)
	小計					6 (6)	3 (8)		9 (14)
合計	20 (21)	6 (6)	5 (5)	16 (18)	6 (6)	4 (9)	23 (24)	80 (89)	

(2) 補助元等区分別内訳

補助元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3 (3)							3 (3)
群馬県	9 (10)							9 (10)
農畜産業振興機構	6 (6)			1 (1)				7 (7)
地方競馬全国協会	1 (1)							1 (1)
家畜登録団体					6 (6)			6 (6)
中央畜産会	1 (1)	5 (5)		8 (9)				14 (15)
その他団体		1 (1)		6 (7)				7 (8)
事務受託先						3 (8)		3 (8)
その他			4 (4)	1 (1)			3 (3)	8 (8)
自己資金			1 (1)			1 (1)	20 (21)	22 (23)
合計	20 (21)	6 (6)	5 (5)	16 (18)	6 (6)	4 (9)	23 (24)	80 (89)

**【収益事業1】畜産に関する収益事業****(1) 家畜登録団体からの業務受託に関する事業**

家畜の血統登録を行う団体から業務の一部を受託し、畜種ごとに定められた登録規程等に基づき、登録申し込みのあった家畜の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行收受、登録証の送付等の業務を行います。〔実施予定事業数：6事業〕

**【その他の事業1】畜産の振興を図る事業****(1) 畜産団体からの事務受託等に関する事業**

畜産生産者等を構成員とする団体からの委託を受け事務を行います。〔実施予定事業数：3事業〕

**(2) その他事業**

「廃棄物の処理と清掃に関する法律」に基づく家畜の死体処理に必要な産業廃棄物管理票(マニフェスト)の販売、畜産に関する情報提供、畜産に関する印刷物の販売等、本会が実施する事業に付随する畜産の振興を図るための事業を行います。

**令和7年度 収支予算****1 概要**

令和7年度当初予算では、補助事業：20事業、助成事業：6事業、特別事業：5事業、受託事業：16事業、家畜登録事業：6事業、生産者事務受託団体からの事務委託を含めた事務受託事業：4事業、自主財源による事業：23事業の計80事業を実施を計画します。

公益目的事業会計、収益等事業会計(畜産収益事業会計、畜産振興事業会計)、法人会計の各会計の総額は、経常収益1,895,801千円、経常費用1,904,041千円、税引前当期一般正味財産増減額は8,240千円の減少を見込んでいます。

直近の予算(令和6年度補正予算)と比較して、経常収益では、61,674千円(約3%)の増加、経常費用では、62,030千円(約3%)の増加を見込んでいます。

主な動きは次のとおりです。

経常収益では、事業収益が4,892千円の減少、受取補助金等が66,714千円の増加、受取助成金が1,769千円の増加、受取負担金が2,367千円の減少を見込んでいます。

経常費用では、事業費が60,067千円の増加、管理費が1,962千円の増加を見込んでいます。

なお、経常収益・費用については、本会の事業構造上、事業量の増減に平行に変動しますが、令和7年度当初予算では、主に肉用子牛生産者補給金制度における補給金及び優良和子牛生産推進緊急支援事業における奨励金の増加によるものです。

各会計の一般正味財産額の増減状況については以下のとおりです。

**2 各会計の状況****(1) 公益目的事業会計**

公益目的事業の主な財源は、会費の2分の1相当額、交付金、補助金、助成金、受託金、補助事業等の実施に必要な費用をまかなうための事業手数料等です。

令和7年度当初予算においては、経常収益1,842,777千円、経常費用1,856,279千円で、他会計振替前当期一般正味財産増減額は13,501千円の減少を見込んでいます。

当事業会計へは、収支相償の原則に基づき、畜産収益事業等会計から収益の約1/2である4,592千円を振替えることで、最終的な公益目的事業会計の税引前当期一般正味財産増減額は10,033千円の減少となる見込みです。

**(2) 収益事業等会計**

収益事業等の財源には、主に家畜登録事業を行う家畜収益事業と、生産者団体等からの事務受託等を行う畜産振興事業により得られる収入が計上されます。

令和7年度当初予算においては、経常収益45,268千円、経常費用39,290千円で、他会計振替前当期一般正味財産増減額は5,977千円の増加を見込みます。

なお、本事業会計は、畜産収益事業会計から、畜産振興事業会計の事業実施に要する共通経費相当額として1,123千円、また、公益目的事業会計に3,468千円を振替えた結果、収益事業等会計の税引前当期一般正味財産増減額は2,508千円となる見込みです。

**(3) 法人会計**

法人会計は会費の2分の1相当額を財源とし、本会の会務に使用する会計です。

令和7年度当初予算においては、経常収益7,755千円、経常費用8,471千円で、税引前当期一般正味財産増減額は715千円の減少を見込みます。

収支予算書(損益)  
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	[ 2,689,200 ]	[ 2,493,606 ]	[ 195,594 ]
受取会費	[ 15,145,000 ]	[ 15,265,000 ]	[ △ 120,000 ]
事業収益	[ 63,007,765 ]	[ 67,900,634 ]	[ △ 4,892,869 ]
受取補助金等	[ 1,379,846,525 ]	[ 1,313,132,525 ]	[ 66,714,000 ]
受取助成金	[ 32,756,710 ]	[ 30,987,250 ]	[ 1,769,460 ]
受取受託金	[ 26,796,874 ]	[ 26,797,497 ]	[ △ 623 ]
賦課金収益	[ 4,932,000 ]	[ 5,129,900 ]	[ △ 197,900 ]
受取積立金	[ 2,630,000 ]	[ 2,136,000 ]	[ 494,000 ]
受取生産者負担金	[ 339,375,000 ]	[ 339,375,000 ]	[ ]
受取負担金	[ 24,994,060 ]	[ 27,361,365 ]	[ △ 2,367,305 ]
経常収益計	1,895,801,134	1,834,126,637	61,674,497
(2) 経常費用			
事業費	[ 1,895,570,182 ]	[ 1,835,502,549 ]	[ 60,067,633 ]
管理費	[ 8,471,217 ]	[ 6,508,273 ]	[ 1,962,944 ]
経常費用計	1,904,041,399	1,842,010,822	62,030,577
当期経常増減額	△ 8,240,265	△ 7,884,185	△ 356,080
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取補助金等	[ 69,761,230 ]	[ ]	[ 69,761,230 ]
受取積立金	[ 34,880,627 ]	[ ]	[ 34,880,627 ]
受取生産者負担金	[ 749,048,449 ]	[ ]	[ 749,048,449 ]
経常外収益計	853,690,306		853,690,306
(2) 経常外費用			
支払返戻金	[ 853,690,306 ]	[ ]	[ 853,690,306 ]
税引前当期一般正味財産増減額	△ 8,240,265	△ 7,884,185	△ 356,080
法人税、住民税及び事業税	2,000,000	2,000,000	
当期一般正味財産増減額	△ 10,240,265	△ 9,884,185	△ 356,080
一般正味財産期首残高	366,540,614	376,424,799	△ 9,884,185
一般正味財産期末残高	356,300,349	366,540,614	△ 10,240,265
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	[ 13,234,000 ]	[ 13,569,000 ]	[ △ 335,000 ]
受取積立金	[ 6,617,000 ]	[ 6,784,500 ]	[ △ 167,500 ]
受取生産者負担金	[ 477,000,000 ]	[ 477,000,000 ]	[ ]
特定資産運用益	[ 2,309,580 ]	[ 2,189,074 ]	[ 120,506 ]
一般正味財産への振替額	[ △ 1,201,197,641 ]	[ △ 347,398,875 ]	[ △ 853,798,766 ]
当期指定正味財産増減額	△ 702,037,061	152,143,699	△ 854,180,760
指定正味財産期首残高	1,834,926,529	1,682,782,830	152,143,699
指定正味財産期末残高	1,132,889,468	1,834,926,529	△ 702,037,061
III 正味財産期末残高	1,489,189,817	2,201,467,143	△ 712,277,326

畜産リノベ資金・酪農・肉用牛担い手緊急支援資金(酪肉支援資金)の紹介

NEW!

畜産関係の融資制度について

畜産リノベ資金

(旧 畜特資金)

長期・低利の借換資金と経営改善指導を組み合わせたことで、効果的な経営改善を図る制度資金です

早期の借入で  
経営再建に成功!



畜産リノベ資金はこんな資金です!

ポイント 01 毎年の返済・金利負担を軽減し、資金繰りに余裕ができます!

畜産経営における借入金のうち、毎年の返済金額の不足分を限度額として、長期・低利で借換を行うことができる制度資金です。

償還期限	酪農・肉用牛：25年以内(35歳未満期間5年以内) 養豚：15年以内(35歳未満期間5年以内)
貸付金利	1.4%(令和7年1月21日現在)

ポイント 02 地域の専門家が一体的に経営改善をサポートします!

借入金の借換に加え、個々の経営の課題に対し、畜産協会、金融機関、JA 営農指導員、普及指導員、家畜保健衛生所、農業共済獣医師、行政機関からなる支援協議会が一体的に経営改善をサポートし、効果的な経営改善に取り組むことができます。



ポイント 03 この資金を活用後、地域の優良経営体となった事例も!

本資金を活用した経営体の多くは経営を継続しており、優良経営体として表彰を受けた経営体も出ています。

(公社)中央畜産会 令和5年度全国優良畜産経営管理技術発表会  
[優秀賞・農林水産省畜産局長賞]  
北海道 有限会社 福田農場  
「経営中止の危機を乗り越え、トップクラス生産体」(表彰)「一」  
業種別PDF: [http://jca.go.jp/business/kyosei/03/2024/05\\_25\\_kusaku.pdf](http://jca.go.jp/business/kyosei/03/2024/05_25_kusaku.pdf)



令和7年度緊急対策

酪肉支援資金

(酪農・肉用牛担い手緊急支援資金)

3年分の償還額を長期・低利で借換えることによる償還負担の軽減と経営環境の変化への対応をサポートする制度資金です

3年分の借換で  
キャッシュフローを  
確保



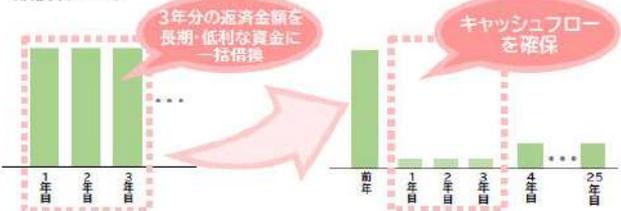
酪肉支援資金はこんな資金です!

ポイント 3年分の返済金額を借換えることで、負担軽減効果を高めます

酪農・肉用牛経営における  
3年分の返済金額を限度額として、  
長期・低利で借換を行うことができ  
る制度資金です。

対 象	酪農経営・肉用牛経営
限 度 額	3年分の返済金額
償 還 期 限	25年以内(うち借換期間5年以内)
貸付金利	1.4%程度(貸付時の金利を適用)
貸付予定日	令和7年5月末、8月末、11月末、令和8年2月末

(借換イメージ)



経営環境の変化への対応をサポートします

持続可能な経営に向けた経営構造の見直しに対し、畜産協会、金融機関、JA営農指導員、普及指導員、家畜保健衛生所、農業共済獣医師等がサポートします。

## 肉用牛合同研修会の開催

令和7年3月7日（金）JAビル大ホールにて、令和6年度肉用牛合同研修会を開催しました。（共催：家畜改良事業団前橋種雄牛センター、全国農業協同組合連合会群馬県本部、群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会、群馬県 JA 繁殖和牛部連絡協議会、群馬県和牛改良組合連絡協議会、渋川家畜市場和子牛増頭クラスター協議会）本研修会は、県内の和牛繁殖経営者、肥育経営者をはじめ、畜産関係団体の担当者など、計145名と多数の方に参加いただきました。

研修会は2部構成で、第1部では、主催団体及び関係機関から以下の5点について情報提供を行いました。

- ① 第30回育種価評価成績について（群馬県畜産協会）
- ② 渋川家畜市場について（全農群馬県本部）
- ③ 新規種雄牛について（家畜改良事業団）
- ④ 肉牛関連県事業について（群馬県農政部米麦畜産課）
- ⑤ 枝肉撮影用カメラ・食肉脂質測定実施状況について（群馬県畜産試験場）

第2部では、北里大学獣医学部 動物資源科学科 動物飼育管理学的研究室 准教授で、ライブストックジャパン株式会社 代表取締役 CEO でもある鍋西久氏に「生産コスト高騰下における生産性向上対策の再考～今だからこそ、生産者ができるムダを省く対策～」という演題でご講演いただきました。

生産コスト高騰下に生産者ができることとして、分娩間隔の短縮、分娩事故の低減、子牛の発育に応じた飼養管理の徹底等具体的な取り組みや、活用できるICT 機器についてご紹介いただき、経営者がすぐにでも実践できるような内容であり、大変参考になりました。



講師の鍋西准教授



講演の様子

## 和牛全共だより

◆第13回全国和牛能力共進会の本県出品予定区である、種牛の部「第2区」「第3区」の授精時期となりました。下記の表で出品条件の確認をして、和牛全共出品に向けて挑戦しましょう。

出品区	第2区	第3区
区名	若雌の1	若雌の2
生後月齢	14～17ヵ月未満	17～20ヵ月未満
生年月日	R8.3.27～6.26	R7.12.27～R8.3.26
授精・移植時期	R7.6.15～9.14	R7.3.17～6.14
出品単位	単品	
父牛	平成25年10月1日以降生まれであること	
母牛	自県産とする	
産肉能力条件	父牛、母牛、本牛のいずれかが本原登録または高等登録であるものまたは、本牛が本原登録の育種価条件を満たしたものはこれに準ずる	
繁殖能力条件（本牛の母）	いずれかの条件を満たすもの ①高等登録 ②基本・本原登録の場合は次の条件を満たすもの ■初産月齢28ヵ月以内 ■分娩間隔の育種価が県の平均以上（B以上）か分娩間隔が400日以内	
飼養期間	申込みから最終審査まで3ヵ月以上所有・飼育	



第13回和牛全共  
マスコットキャラクター

## 和牛登録員研修会の開催

令和7年2月12日（水）渋川家畜市場にて、和牛登録員研修会を開催しました。本研修会は和牛登録事業の円滑な推進を図ることを目的とし、毎年開催しています。午前中は座学で和牛登録・登記事務に係る内容を説明し、実際に子牛検査票の作成等もしました。午後はJA北群渋川管内生産者の子牛をお借りして、和牛の鼻紋採取や損徴の確認を参加者全員で体験し、子牛登記の一連の内容について研修を行いました。本研修会の受講が子牛登記検査員の資格要件の一つとなっておりますので、登記検査員の資格取得を希望される方は今後ぜひ受講してください。



鼻紋採取の様子



損徴確認の様子

## 第13回全国和牛能力共進会出品に向けた研修会の開催

令和7年2月28日（金）渋川家畜市場にて、第13回全国和牛能力共進会の出品に向けた研修会を開催しました。（公社）全国和牛登録協会から工藤太介事務局長を講師に招き、午前は講義の部として、和牛全共の歴史や開催のねらい（改良成果の実証展示の場）の解説及び、牛の見方、作り方や調教方法などを学びました。午後は実習の部として、午前中の講義で学んだ牛の見方や調教方法を供試牛2頭で実践しました。

研修会には県内和牛改良組合員など関係者37名が参加し、実践的な技術を学ぶ事で、本県の出品技術の向上を図ることができました。

今後もこのような講習会、研修会の開催を予定していますので、ご参加よろしく願いいたします。



工藤太介氏



供試牛を使っての見方の説明



鹿の角での鼻かんの穴開け

## 第51回群馬県ブラックアンドホワイトショーについて

令和7年3月22日（水）渋川家畜市場にて、群馬県乳牛改良協会が主催する、第51回群馬県ブラックアンドホワイトショーが開催されました。審査委員には木村吉里氏（北海道 酪農家）に務めていただき、審査基準に基づいて審査が行われました。

出品頭数は63頭（未経産37頭、経産26頭）で、最高位賞は8部ファニーア クラツシュ シマー ロドリコ（株式会社長坂牧場所有）でした。

なお、上位牛22頭は令和7年4月4日（金）・5日（土）に静岡県の御殿場市馬術・スポーツセンターにて開催される「2025 セントラルジャパンホルスタインショウ」に出品します。

上位の結果は次のとおりでした。

### 最高位賞

ファニーア クラツシュ シマー ロドリコ	(株)長坂牧場
----------------------	---------

### 準最高位賞

リスペクト ラティーズ ハンコツク	三輪圭吾
-------------------	------

### グランドチャンピオン

ジュニア	リスペクト ハンコツク ヴェラルール	三輪圭吾
インターミディエイト	ファニーア クラツシュ シマー ロドリコ	(株)長坂牧場
シニア	リスペクト ラティーズ ハンコツク	三輪圭吾

### リザーブグランドチャンピオン

ジュニア	エステリア Wリアンス ラムダ リーフ	遠坂 和仁
インターミディエイト	キャプテン ネオン ソレミア 727	(株)星野牧場
シニア	クレマチス YアンFH オーキッド HJ フラワー	齊藤将聡



最高位賞 (株)長坂牧場 ファニーア クラツシュ シマー ロドリコ

## 第16回全日本ホルスタイン共進会群馬県出品対策研修会の開催

令和7年3月12日（水）三輪牧場（みどり市）にて、本会が主催する第16回全日本ホルスタイン共進会（ホル全共）への出品対策研修会を開催しました。

これは、ホル全共の出品候補牛の飼養管理や出品技術の向上を目的に、県内の酪農経営者や吾妻中央高校の生徒、群馬県出品対策委員などが参加しました。

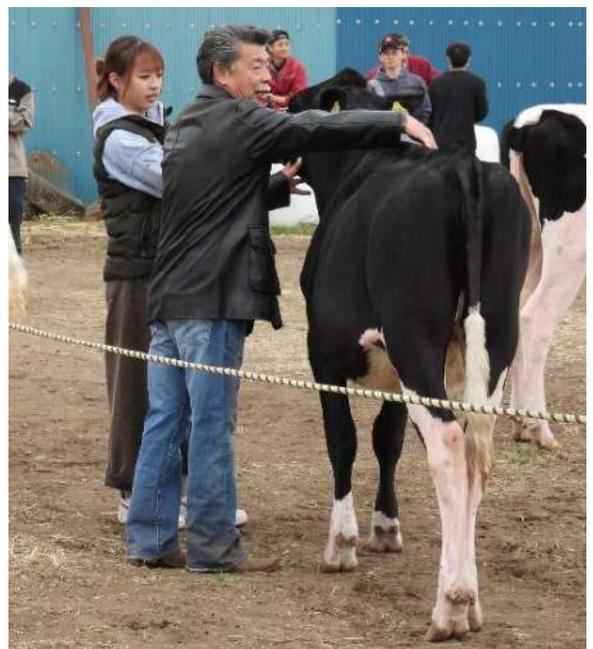
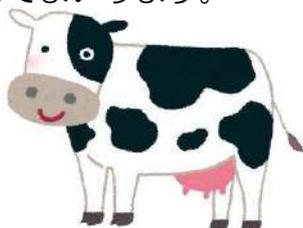
講師に高橋直人氏（ストレートマン・キャトルケア・サービス）を招き、リードマン講習と牛のコンディション作りについて、実践を交えて講義を行いました。

リードマン講習では、アピールするためのポイントを細部にわたり指導いただき、コンディション作りでは、出品候補牛の体型の利点・改善点等を的確に指導いただきました。

また、半年後を見据えた飼養管理が最も大切であることを強調されていました。

今回の研修会は、直接牛に触れながらの指導のため、参加者は、真剣に耳を傾けメモを取っていたのが印象的でした。

いよいよ今年は第16回全日本ホルスタイン共進会の開催年となります。上位入賞を目指し、引き続き、酪農経営者をはじめ、関係機関・団体と協力して、出品対策に取り組んでまいります。



指導する高橋直人氏

## 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催

令和7年1月22日（水）群馬県馬事公苑にて、県内馬飼養者および関係者を対象に、馬飼養衛生管理技術地方講習会を開催しました。

この講習会は馬の飼養衛生管理の普及啓発を図ることを目的に、公益社団法人中央畜産会から助成を受けて開催しています。今年は、日本中央競馬会（JRA）馬事部アンチドーピング課係長 浦山俊太郎氏を講師にお招きし、「馬の跛行と加齢を意識した使用管理について」と題し、ワクチンプログラム、跛行診断法、蹄疾患、加齢を意識した飼養管理、夏季の繋養馬管理等、幅広くお話しいただきました。講演後には高齢馬の飼料を選択する際の注意点や蹄のケアについてなど、日常的な管理に関わる質疑応答が活発に行われ、充実した講習会となりました。

本講習会は毎年開催しており、内容については地域馬飼養衛生管理体制整備委員会にて議論、検討しています。来年度以降も委員の皆様にご指導いただきながら、飼養者が必要としている情報を提供できるよう努めてまいります。



浦山俊太郎 氏



会場の様子

## 令和7年度肉用子牛対策の紹介

- ◆令和7年度における、肉用子牛生産者補給金制度、優良和子牛生産推進緊急支援事業（継続）、和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業（新規）の発動基準は下図のとおりです。

### 令和7年度の肉用子牛対策の全体像

- 肉用子牛生産者補給金は、全国の平均売買価格が**保証基準価格**（黒毛和種は57.4万円）を下回った場合に、その差額の10/10を国が交付。
- 優良和子牛生産推進緊急支援事業は、ブロック別平均売買価格が**発動基準**（黒毛和種は最大61万円）を下回った場合に、取組に応じて**最大3万円/頭**を定額で交付。
- 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業（**緊急特別対策**）を新設。  
和子牛産地の基盤強化計画を作成した地域において、ブロック別平均売買価格が**発動基準**（黒毛和種は最大61万円）を下回った場合に、取組に応じて**1万円/頭**（離島等は**5万円/頭**）を定額で交付。

### 61万円（黒毛）

【発動基準・発動額】（R7.4~R8.3）

品種区分	発動基準	発動基準	発動基準
黒毛和種	61万円未満	59万円未満	58万円未満
必要取組数	2つ	3つ	4つ
奨励金単価	1万円/頭	2万円/頭	3万円/頭
褐毛和種	56万円未満	54万円未満	53万円未満
その他肉専	36万円未満	34万円未満	—

【発動基準・発動額、取組】（R7.4~R8.3）

品種区分※1	発動基準	発動額	
		離島等以外	離島等※2
黒毛和種	61万円	1万円	5万円
褐毛和種	56万円		
その他肉専	36万円		
必要取組	各和子牛産地※3で下の内容を含む基盤強化計画を作成。 下の取組のいずれか1つを行う生産者に対し、奨励金を交付。 ① 地域内自給飼料の生産・利用 ② 早期出荷に向けた地域内一貫生産 ③ 需給に応じた生産（子牛や枝肉の需給・価格状況、消費者ニーズに関する勉強会等の実施）		

緊急特別対策（新設）

【飼養管理向上の取組】

母子共通メニュー	子牛メニュー	母牛メニュー
<ul style="list-style-type: none"> <li>飼料効率の改善</li> <li>添加物による栄養補助</li> <li>繁殖・防虫対策</li> <li>寒冷・暑熱対策</li> <li>牛体管理の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病防止のワクチン接種</li> <li>疾病の早期治療</li> <li>栄養状態を強化する人工哺乳</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>疾病防止のワクチン接種</li> <li>発情発見機等の活用</li> <li>高度な栄養管理</li> </ul>

57.4万円

保証基準価格

10/10

全国平均売買価格

子牛補給金

※1 自家保留牛も対象  
 ※2 「離島等」は、離島振興法第2条第1項の規定により指定された離島振興対策実施地域、沖縄県、鹿児島県奄美市及び同県大島郡  
 ※3 都道府県肉用子牛価格安定基金協会が計画作成主体

【平均売買価格は四半期毎（その他肉専は年度毎）に算定】

## 地方競馬ミルクウィーク2025の開催

令和7年3月14日～20日の7日間の日程で、地方競馬全国協会のご支援のもと、「地方競馬ミルクウィーク2025」が開催されました。

国内の生乳消費の落ち込みが予想される年度末の期間のうち、生乳の消費拡大活動と冠レースの開催を各競馬場にて行うことで、地方競馬および畜産振興に資することを目的として令和5年度より開催されています。

地方競馬場は全国13カ所あり、8ブロックに分けて全国の馬事畜産振興協議会（事務局：各県畜産協会）が協力することで実施されました。本会においては、3月14日に大井競馬場（東京都）の来場者に対し、飲むヨーグルト・カップアイス等計2300個（うち本県産乳製品300個）のうち、2種類を1セットとして先着1,150名様へ配布を行いました。

短い期間ではありましたが、結果として、全国で約15,650名の方に地域の牛乳・乳製品の無償配布を行うことができ、本会としても牛乳・乳製品の消費拡大につながるPR活動と日本の酪農応援・畜産振興に、地方競馬と一体になって貢献することができました。



牛乳・乳製品消費拡大のPR活動



大井競馬場 G-FRONT 前

## 価格安定事業発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分	平均売買価格(円)								交付単価(円)					交付額(円)						
	業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	
7	6	1	～	3	第4四半期	562,200	585,300	232,100	173,600	347,700	-	-	90,510	-	-	-	-	-	-	-
		4	～	6	第1四半期	541,400	606,100	-	177,500	318,500	22,600	-	-	-	-	17,537,600	-	-	-	-
		7	～	9	第2四半期	498,900	649,800	-	201,700	299,500	65,100	-	-	-	-	59,045,700	-	-	-	-
		10	～	12	第3四半期	521,900	677,100	-	201,300	329,400	42,100	-	-	-	-	37,384,800	-	-	-	-
					計										113,968,100					

※他肉(その他肉専用種)はR2年度より算定期間が1年(4月～3月)となりました。

【優良和子牛生産推進緊急支援事業の平均価格等(令和6年10月～12月分)】

1 発動基準価格及び平均価格

品種・ブロック名		発動基準価格			平均価格	奨励金 発動基準
		A	B	C		
黒毛 和種	北海道	600,000	580,000	570,000	545,574	C
	東北				533,659	C
	本州関東以西・四国				542,819	C
	兵庫県				1,009,645	-
	九州・沖縄				501,641	C
褐毛和種		550,000	530,000	520,000	677,100	-
その他の肉専用種		350,000	330,000	-	-	-

1 発動基準ごとの奨励金単価

(単価:円/頭)

品種	発動基準価格			
	発動基準	取組数2	取組数3	取組数4以上
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000
	B	10,000	20,000	20,000
	C	10,000	20,000	30,000

※本県の事業参加者は全員取組数4以上

■肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 交付金交付状況

期間	品種区分	支払区分	交付対象		交付金の額			交付日
			人数 (人)	頭数 (頭)	(円) (4/4)	交付金として 支払う額(3/4)	積立金から 支払われる額(1/4)	
1月期	肉専用種	概算払	67	817	0	45,791,797	15,263,968	概算払日 令和7年 3月27日
		精算払			61,055,765			
		計			0			
	交雑種	概算払	0	0	0	0	0	
		精算払			0			
		計			0			
	乳用種	概算払	3	4	0	138,713	46,240	
		精算払			184,953			
		計			0			
	小計	概算払	70	821	0	45,930,510	0	
		精算払			61,240,718			
		計			61,240,718			

■肉用豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

算出期間	令和6年4月から12月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	46,734 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	42,720 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

■和牛子牛市場成績【JA 全農ぐんま渋川家畜市場】

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
3	雌	104	803,000	243,100	563,024	305	297	1,842
	雄							
	去勢	146	957,000	278,300	731,400	341	296	2,143
	合計	250	957,000	243,100	662,393	326	297	2,028

■乳用牛市場成績

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数(頭)	平均体重(kg)	平均価格(円)
2	未経産			10	264	236,500
		初妊	AI	ホルス	7	569
	交雑種			31	551	550,903
	ET		和牛	3	570	672,000
	IVF		IVF	1	495	680,000
	経産			44	594	336,727
		AI	ホルス	3	642	472,667
			交雑種	54	676	369,815
		IVF	IVF	1	597	388,000
	合計			154	592	406,058

■前橋家畜市場取引結果【群馬県家畜商商業協同組合】 開催日 令和7年2月1日~2月28日

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	168	554,400	90,200	358,862	152
		オス	261	766,700	125,400	481,062	164
	スモール	メス	0	0	0	0	0
		オス	1	255,200	255,200	255,200	77
交雑種	子牛	メス	22	346,500	37,400	193,900	170
		オス	23	423,500	89,100	249,652	189
	スモール	メス	589	319,000	550	173,398	90
		オス	676	279,400	8,800	195,271	96
乳牛	子牛	メス	10	103,400	12,100	67,980	140
		オス	1	11,990	11,990	11,990	83
	スモール	メス	11	78,100	9,020	48,440	79
		オス	211	99,000	1,320	56,298	75

